

一緒に考える このまちの地域力

H26年11月30日(日)

連島南公民館

【主なご意見】

- 以前、小学校の校長先生から最近の子どもは本をあまり読まないと聞いた。小さい時に本を読んだ人は立派な大人になると思う。
- 鶴新田地区は希少生物が生息している貴重な地域だ。その地域の農産物や生産品に希少生物の名前を使ったらどうか。(例えば、「ゴボウ」「レンコン」など)それにより付加価値がつき、収益アップにもなると思う。
- 西鶴橋からの道路の計画はどうなっているのか。
- 高橋大輔選手の引退を受け、メモリアル館を作ったり、観光大使になってもらって、倉敷市を全国・世界に発信してはどうか。
- 学童保育の預かり時間を延長してほしい。
- 災害時の要援護者については、まずは地域などで助け合い、公の機関が救助に来るのを待つべきだと思う。
- 連島の地域力についてどう思われているか。
- 山の斜面に住んでいるので、土砂災害を心配している。
- 倉敷市の広報紙は他県の方にも好評だった。
- 倉敷市の防災士資格取得の補助制度はありがたい。倉敷市は防災に力を入れているので、地震など災害時のために学校の教室にヘルメットを配置してはどうか。
- 地域を大切に、日本(国旗・国歌)を大切に思う子どもたちを育てたいと思う。
- 市ではないと思うが、社会福祉協議会の祝い金や社会福祉協力員などの規定を見直してほしい。